



可能性を無限大にする デザインへの挑戦

高山 巧 1985年生まれ
大阪芸術大学 デザイン学科 2008年卒業 (D04074)

大学でコミュニケーションデザインを学び、真生印刷株式会社入社。グラフィックデザイナー・ディレクターとして様々なクライアントの仕事に従事。後に2014年合同会社DMM.com入社。UI/UXデザイナー兼アートディレクターを経て2021年、株式会社ディー・エヌ・エー入社。現在は担当サービスのUI/UXデザイナー及びデザイングループリーダーとして活躍中。



Twitter : ID
@anpanmaru0

こんにちは！大阪芸術大学短期大学部の卒業生の岩瀬です！今回は同じ大阪芸術大学出身で、元同僚であった高山巧さんをご紹介します。印刷からITという異なる領域に挑戦し、現在もデザイナーとして活躍されています。

岩瀬：お久しぶりです。本日はよろしくお願いします。

高山：コロナ前の2020年1月以来ぶりくらいに会いますね。新卒で入った印刷会社時代からですから、思えば長い付き合いになるなあ。

岩瀬：今日は高山君にご自分のキャリアを振り返っていただこうと思ってます。

高山：はい。お手柔らかにお願いします。

大学時代をふりかえる

岩瀬：大阪芸大に入学したきっかけは？

高山：僕は子供の頃から絵を書くのが好きで、イラストレーターになりたいと芸大に行きたいと思い、推薦でうけたら受かったんです(笑) コミュニケーションデザインコースに入って、広告デザインを学んだのをきっかけに、デザインの楽しさややりがいを見つけました。顧客の課題を整理し、デザインをアウトプットする。モノづくりの醍醐味みたいなものを感じましたね。

岩瀬：私が学生の頃(いつの時代！？)は、限りなくアナログなデザイン時代でした！レタリングしたり、アクリル絵具やインスタントレタリング使って制作したりしてた…時代の差を感じます(笑)

高山：学生の時はとにかく楽しくて、仲間とポストカード作って販売したり。無邪気なものづくりを楽しんでいた思い出があります。その時の仲間とは今でも繋がりがあって、活躍している友人もたくさんいるんですよ。



大学時代のグループ展

デザイナーとしてのスタート

岩瀬：私は真生印刷に1989年入社。当時の印刷はアナログからデジタルへの変換期でDTP黎明期でした。高山君が新卒で入社したのが2008年。郷里が金沢の高山君が、なぜ大阪で就職したのですか？

高山：パッケージデザインをやりたいと思って、募集要項にパッケージがあった真生印刷を受けたら受かった(笑)。実際にはパンフレットやDMなどのデザイン制作に明け暮れました。パナソニックや、アリコなどの数十社を超える多様なクライアントのデザインに携わる事が出来ました。自分のデザイナーとしての基礎はここで培われました。

岩瀬：私も同じくカレンダーの企画デザインをはじめとするいろんな媒体の制作に携われた充実した時期でした。

高山：新米デザイナーとして、非常に多くの制作経験を積む事が出来たのは本当に良い時間でした。

Re.Start 新たなステージへの挑戦

岩瀬：数年して、わたしも高山君も新しいステージに向かいましたね。

高山：6年程働いて来た中で、もっと自由に表現出来る媒体へ、より上流から制作に関わりたいという思いが高まり、故郷の石川にあるIT系事業会社のDMM.comにUターン転職をすることになりました。

岩瀬：紙媒体からWEBへの転身！迷いはなかったのでしょうか？

高山：全く迷いがなかったわけではないですが、ポートフォリオを先方に見せた所、制作のクオリティは申し分ない！と評価していただいたのでチャレンジしました。入社当時はWebという媒体での理解も経験も無し。デザインを0から学び直すように、セミナーを受けたり参考書を読み漁ったりして日々学習していました。

岩瀬：迷いはあったけれど、変化する事を選んだ。

高山：媒体が違えど、情報をデザインしてアウトプットする本質は変わらないと思いました。WEBやアプリのデザインを経験する中で、事業サービスそのもののデザインに携わるようになり、その過程で、UI/UXデザイン・体験設計の重要性を学びました。実績が評価され、健康献立提案サービス「MENUS」の立ち上げメンバーとしてアサインされ、VI/CI、UI/UX、マーケティングなどデザイン業務全般を担当すると共に開発チームのプロダクトオーナーも兼任していました。新しい領域にチャレンジし、チーム一丸となってサービスを磨き上げた結果、「MENUS」はGoogle Play ベスト オブ 2019の隠れた名作部門賞を受賞することができました。



DMM.com
MENUS
プロダクトデザイン



250名 1500名の
有名人が参加中！



真生印刷
ダイレクトメール
パンフレット



DMM.yell/DMM okan
プロダクトデザイン

岩瀬:変化とチャレンジ。わたしは50歳を過ぎてから転職したのですが、聞いてて共感しました。

高山:未経験でもまずは取り組んでみるのが大切な気がしてます。ぼくは根底に『モノづくりが好き』というがあるので、どんな仕事でもそれはずっと変わっていません。そういえば岩瀬さんが転職される時、電話もらいましたね(笑)

岩瀬:そう!相談に乗ってもらいました。あれからもう7年。高山君と一緒に、チャレンジして経験値を積んで来ました。

高山:岩瀬さんの場合は50歳を超えたタイミングでの転職だったから、心理的ハードルは高かったでしょうか?

岩瀬:ええ、それはもう…コミュニケーション力をあげたくて、コーチングを受けたのですが、それは現在仕事にとっても役立っていて、自分もコーチになる勉強をはじめました。



高山:それで『コーチング受けてみませんか?』って連絡いただいたんですね。当時の僕は、サービスデザイナーとしての知見や経験を広めたくて、違う環境での可能性を求めて転職を決意。ディー・エヌ・エーへの入社が決まったタイミングだったんです。漠然とした不安や、今後のキャリアに対して整理したいと思っていたので岩瀬さんの提案はタイムリーでした(笑)

岩瀬:高山君にはコーチングについて既に知識があったんですね。実際に受けてみていかがでしたか?

高山:職場以外で対話の壁打ちをしてもらえたのは有り難かったです。転職にあたって自分の準備出来る事、やらなければならない事、どんな自分になりたいのか、考える事はたくさんあって、定期的にセッションを行って順番に整理したという感じです。

岩瀬:コーチングの効果、出ましたね!ディー・エヌ・エーに入社されてどうですか?

高山:自分がデザイナーとして事業にどんな価値を発揮できるか、スキルが通用するか?精一杯頑張りましたね。現場の判断や考えを重視する社風であり、メンバーが常に問いを重ね、物事の本質を見極めようとする姿勢が自分にとって刺激となっています。最近ではグループリーダーも任されて、マネジメントの課題にぶつかることもあります。日々成長していると実感があります。

岩瀬:具体的にはどのような仕事を担当されているのですか?

高山:カーシェアプラットフォーム「Anyca」のサービスデザイナーを担当しています。アプリプロダクトからマーケティングまで幅広く担当し、サービスの認知拡大に現在も取り組んでいます。

岩瀬:成長途中の高山君ですが、今後はどんな高山君になりたいですか?



高山:「人々が求めている価値・ビジネスが提供できる価値は何か」の本質を見据えてデザインする。人と社会の課題解決を担うデザイナーになりたいと考えています。岩瀬さんはどうですか?



現場での価値検証

岩瀬:私は転職してディレクションが主な仕事になりました。会社のキービジュアルデザインやブランディング、コミュニケーション拡大に貢献していきたいです。コーチングでは、さらに経験と知識を積んで国際コーチング連盟認定資格をとって、デザインとコーチングの架け橋になりたいんです。

高山:ほう、やはり新たなチャレンジを模索中という事なのですね。DESIGN×COACHING。還暦とは思えないパワフルさです(大笑)

最後に

岩瀬:たくさんお話を聞かせていただいてありがとうございました。キャリアを模索している方に響く実際の事例としてすごく興味深く聞かせていただきました。

高山:岩瀬さんの50歳からの転職物語も、勇気づけられる人がいるのではないのでしょうか?

岩瀬:そうだといいですね。

最後に聞かせていただきたいのですが、過去の自分自身に声をかけるとしたら、どんな声をかけると思いますか?

高山:『やりたいと思った事は、素直にチャレンジすればいい。たとえ不安でもチャレンジすることで、必ず結果がついてくる。』

大学を卒業してそろそろ14年が過ぎようとしています。モノづくり大好きな自分の本質はあまり変わらない気がします。

岩瀬:自分の根幹を成す部分は変わらない、それを信じて前に進んでいくことでしょ

高山:そうですね。常に自分の本質を信じて進み続けたいと考えています。

岩瀬:ありがとうございました。これからの挑戦も楽しみにしています。

高山:こちらこそありがとうございました。岩瀬さんのコーチとしてのチャレンジもがんばってください。

取材・文責:岩瀬 美保



インタビュー/岩瀬 美保 (D81007)
1963年生まれ
大阪芸術大学短期大学部 グラフィックデザインコース 1983年卒業。1989年より真生印刷株式会社に21年間勤めた後、現在は大紀商事株式会社 マーケティング部、社内広報担当。
Twitter ID : @nicol_coach

